



2025年度通期決算説明資料

2026年4月30日

1.	2025年度通期決算概要	P.3
2.	主要航路別積高・消席率・運賃指数	P.4
3.	2026年度通期見通し	P.5
4.	足元の事業環境の変化への対応	P.6
5.	参考資料（船隊構成、航路構成、新造船発注残）	P.7
6.	Appendix 北米航路運賃・荷動き推移	P.8

1. 2025年度通期決算概要

□ 要点

第4四半期は低調な荷動きが続くも、運賃水準は一定の回復が見られ、税引後損益は55百万US\$の黒字。この結果、通期では338百万US\$の黒字となった。

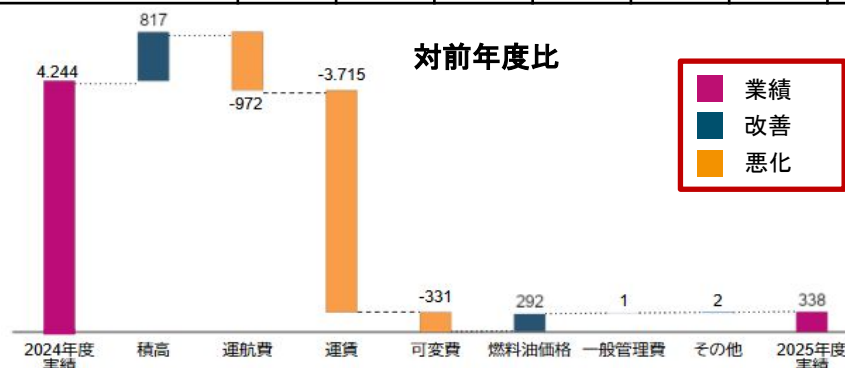
- ・ 荷動きは総じて低調に推移したが、アジア／欧州航路では旧正月前に需要の増加が見られた。
- ・ 新造船の投入が続いたことで船腹供給が増加したが、港湾混雑や天候不順の影響により増加分が一部抑制された。
- ・ 中東における地政学的緊張がコスト増を招いているが、第4四半期における影響は限定的だった。

□ 2025年度通期実績並びに対前年度比較

(単位: 百万US\$)

	2024年度 (実績)							2025年度 (実績)							対前年	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	増減	増減 (%)
売上高	4,211	5,864	10,075	4,846	4,312	9,158	19,233	4,049	4,455	8,504	4,074	4,042	8,116	16,620	-2,612	-14%
EBITDA	1,217	2,386	3,603	1,583	781	2,364	5,966	616	881	1,497	536	719	1,255	2,752	-3,214	-54%
EBIT	667	1,865	2,532	1,049	223	1,272	3,804	38	282	320	-84	74	-10	310	-3,494	-92%
税引後損益	779	1,999	2,778	1,156	309	1,465	4,244	86	285	371	-88	55	-33	338	-3,906	-92%

燃料油価格 (US\$/MT)	594	585	589	557	546	552	570	535	518	526	489	440	465	495	-75	-13%
総燃料消費量 (K MT)	900	969	1,869	950	942	1,893	3,762	950	1,005	1,955	998	995	1,992	3,947	185	5%
総積高 (K TEU)	3,142	3,291	6,433	3,246	3,071	6,317	12,750	3,165	3,323	6,488	3,245	3,195	6,440	12,927	177	1%



- 積高 : アジア／欧州航路を中心に積高が増加。
- 運航費 : 船費と港費の増加。
- 運賃 : 需給バランスの軟化に伴う運賃下落。
- 可変費 : 空コンテナ回送費用上昇による増加。
- 燃料油価格 : 対前年同期比で下落。
- 一般管理費 : 対前年同期比で横ばい。

2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

航路別積高・消席率		2024年度							2025年度						
		1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績
北米往航	積高(千TEU)	673	730	1,403	713	633	1,345	2,748	672	711	1,383	678	677	1,355	2,738
	消席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%	91%	92%	90%	93%	92%	92%
欧州往航	積高(千TEU)	434	451	886	418	426	845	1,730	456	501	957	444	507	952	1,909
	消席率	100%	97%	98%	93%	90%	92%	95%	90%	91%	91%	81%	94%	88%	89%

北米復航	積高(千TEU)	290	281	571	271	254	525	1,096	217	206	423	230	229	459	882
	消席率	43%	39%	41%	40%	37%	38%	40%	27%	24%	26%	30%	28%	29%	27%
欧州復航	積高(千TEU)	245	244	490	237	249	487	976	247	260	507	264	245	509	1,016
	消席率	48%	45%	46%	47%	44%	46%	46%	35%	36%	36%	36%	37%	36%	36%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2024年度							2025年度						
		1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績
北米往航		137	195	167	159	146	153	160	131	132	131	119	120	120	126
欧州往航		201	293	248	218	204	211	230	154	164	160	142	154	148	154

- **積高・消席率:** 北米往航では旧正月前の出荷増が想定を下回り、旧正月後の荷動き回復も鈍い状況が続いた。一方で欧州往航では旧正月前に需要が増加した。消席率は、需給バランスがタイトになったことを受けて両航路で改善した。
- **運賃指数:** 第4四半期の平均運賃は、北米往航では前四半期から横ばいで推移する一方、欧州往航では改善が見られた。

3. 2026年度通期見通し

□ 要点

2026年度の業績予想は、中東情勢をはじめとする地政学的情勢を背景に依然として不透明な状況にあるものの、通期で300百万US\$の黒字を見込む。

- ・ 本予測は中東情勢の継続的な影響を織り込んでおり、運航環境が夏頃までに紛争前の水準へ安定化することを前提としている。
- ・ 不安定な地政学的情勢による運航コストの増大やネットワーク上の課題に直面するものの、強靱かつ競争力のあるサービスを提供し、グローバル・サプライチェーンを支えていくことに注力。

□ 2026年度通期見通し

(単位: 百万US\$)

	2025年度(実績)			2026年度(見込)			通期比較	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減	増減
売上高	8,504	8,116	16,620	9,400	9,100	18,500	1,880	11%
EBITDA	1,497	1,255	2,752	1,300	1,700	3,000	248	9%
EBIT	320	-10	310	50	450	500	190	61%
税引後損益	371	-33	338	-50	350	300	-38	-11%

4. 足元の事業環境の変化への対応

発生事象

- 中東における地政学リスクの高まりを受け、ホルムズ海峡を含む重要海域の通航が制限される事態が続いている。これに伴い、中東発着のサプライチェーンに大きな影響が生じるとともに、コストの著しい上昇を招いているが、第4四半期業績への影響は限定的だった。
- 紅海・スエズ運河ルートへの通航再開の見通しは不透明感を増し、喜望峰ルートへの迂回が続いている。
- 北米向けの荷動きは前年比で減少傾向で推移する一方、欧州向けは堅調な荷動きが続いている。



ONEの 対応

- 中東情勢の緊迫化を受け、顧客の貨物への影響とサプライチェーン混乱を最小限に留めるべく機動的な対応を実施。
- 当該地域における従業員および船員の安全確保に注力。
- さらなるサービス安定化と顧客サービスの向上に向け、レムチャバン(タイ)と釜山(韓国)など主要戦略市場でのターミナル投資を拡大。



荷動きに応じた柔軟な配船およびコンテナフローの最適化によりオペレーション効率を最大化

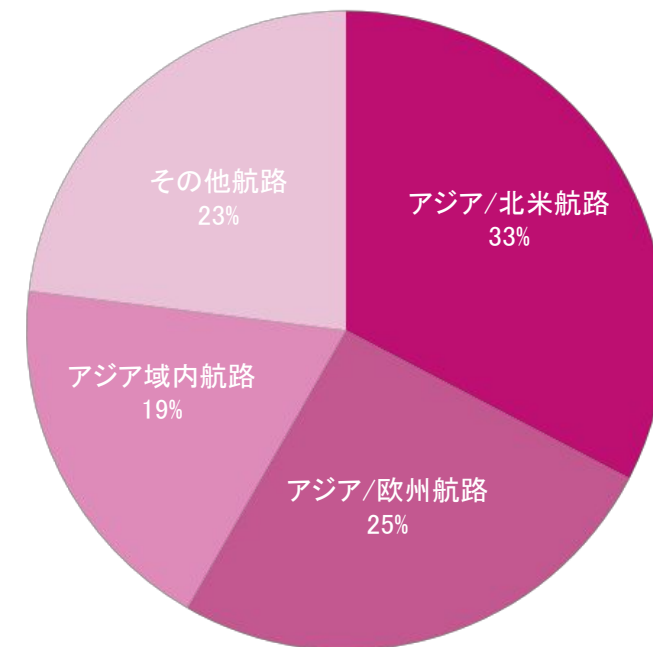
5. 参考資料(船隊構成・航路構成・新造船発注残)

□ 船隊構成

Size			1) 2025年 12月末時点	2) 2026年 3月末時点	2)-1)
20,000 TEU	>=	Capacity (TEU)	264,600	264,600	0
		Vessels	12	12	0
10,500 TEU	-	20,000 TEU	Capacity (TEU)	804,848	41,796
		Vessels	54	57	3
9,800 TEU	-	10,500 TEU	Capacity (TEU)	170,686	0
		Vessels	17	17	0
7,800 TEU	-	9,800 TEU	Capacity (TEU)	364,036	8,772
		Vessels	40	41	1
6,000 TEU	-	7,800 TEU	Capacity (TEU)	246,706	0
		Vessels	37	37	0
5,200 TEU	-	6,000 TEU	Capacity (TEU)	33,112	0
		Vessels	6	6	0
4,600 TEU	-	5,200 TEU	Capacity (TEU)	78,068	0
		Vessels	16	16	0
4,300 TEU	-	4,600 TEU	Capacity (TEU)	62,869	0
		Vessels	14	14	0
3,500 TEU	-	4,300 TEU	Capacity (TEU)	66,734	0
		Vessels	16	16	0
2,400 TEU	-	3,500 TEU	Capacity (TEU)	101,361	-3,055
		Vessels	38	37	-1
1,300 TEU	-	2,400 TEU	Capacity (TEU)	20,719	-1,440
		Vessels	13	12	-1
1,000 TEU	-	1,300 TEU	Capacity (TEU)	16,092	1,096
		Vessels	14	15	1
0 TEU	-	1,000 TEU	Capacity (TEU)	1,872	0
		Vessels	2	2	0
合計		キャパシティ(TEU)	2,184,534	2,231,703	47,169
		隻数	279	282	3

□ 航路構成

(2025年度4Q 往復スペースの構成
アロケーション)



□ 新造船発注残 (新造傭船含む)

	2025年 12月末時点	2025年度 4Q デリバリー	2025年度 4Q 新規発注	2026年 3月末時点
新造船発注残 (隻数)	68	3	2	67

6. Appendix 北米航路運賃・荷動き推移

Liftings (TEU)

Freight Index
(FY2018 1Q=100)

